

第79回 未来医療セミナー

2014.7/18
18:00-19:00

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター
1F マルチメディアホール

臨床研究から日常診療への “トランスレーショナルリサーチ”

藤原 康弘

国立がん研究センター
執行役員 企画戦略局長
同 中央病院 乳腺・腫瘍内科



当科は再発・手術不能あるいは転移性の乳癌、婦人科癌、軟部肉腫、原発不明癌の患者の診療と臨床研究ならびに腫瘍内科医の育成に努めてきた。その中で、分子生物学的手法、PET/質量分析計を用いた分子イメージング、薬物動態・薬理力学的手法、免疫組織科学的手法等を駆使し、先に挙げた癌腫における創薬ターゲットの探索並びに薬剤感受性・耐性因子の同定を試みてきた。その成果を紹介するとともに、当科を中心に実施してきた6つの医師主導治験の経験を踏まえて、トランスレーショナル・リサーチを如何に薬事承認・保険償還に発展させていけば良いかをレギュラトリーサイエンスの視点から考察し、個別化医療の未来像を語りたい。さらに、乳癌患者において妊よう性を確保しつつ治療を継続したり、治療で被る容姿の変化を少なくする手法の開発（アピアランス研究）等の社会科学的研究の成果の一端も紹介し、がん診療における腫瘍内科学の重要性を強調したい。

主催：未来医療交流会

後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」
厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

お問い合わせ先：

大阪大学医学部附属病院未来医療センター
ctr.osakauniv@dm.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>